

共通科目・一般教育の紹介

日本大学理工学部では、すべての学科の学生を対象に一般教育(共通科目)を設置しています。共通科目は「教養教育科目」「外国語科目」「保健体育科目」「基礎教育科目」で構成され、主に1~2年生を対象に開講しています。現代社会において、理工学の専門知識や技術が社会の創造と発展には不可欠な要素となっています。一般教育教室では、現代社会の要請に応えられるしっかりとした基礎学力や専門知識、技術を身につけ、培った能力を最大限に生かす方法や態度を学ぶ場を数多く用意しています。「生きるための知恵」を学び、個々の学問領域の枠組みにとらわれない、柔軟な発想と知の総合力を身につけましょう。

2018年度 カリキュラム

全学科共通科目配置表

必修	選択必修	選択
1 教養教育科目		
人間・社会・自然の各分野を体系的にとらえる基礎的な科目のほかに、現代社会の諸問題を考える科目を多く用意しています。異なる専門分野の複数の教員が同じ1つのテーマを分担して考査する「総合講座」や、少人数制の「教養ゼミナール」など、学際的あるいは個別具体的な問題を考える科目もあり、広く世界について総合的に理解します。		
● 哲学 ● 美学・宗教論 ● 優理学 ● 技術者倫理 ● デザイン文化思想 ● 歴史の諸相 ● 近現代の歴史 ● 日本文芸学 ● 文學 ● 法學 ● 社会学の基礎 ● 応用社会学 ● 経済学の基礎 ● 応用経済学 ● 心理学の基礎 ● 応用心理学 ● 日本国憲法 ● 日本語表現法 ● 歴史環境論 ● 科学技術と人間 ● 知的財産権論 ● 経営学 ● 総合講座 ● 教養ゼミナール	● 外国語Ⅰ・Ⅱ ● 英語Ⅰ・ⅡA・ⅡB ● 英語Ⅱ・ⅡA・ⅡB ● ドイツ語文法Ⅰ・Ⅱ ● ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ ● フランス語文法Ⅰ・Ⅱ ● フランス語初級Ⅰ・Ⅱ ● 中国語文法Ⅰ・Ⅱ ● 中国語初級Ⅰ・Ⅱ	● 微分積分学Ⅰ・Ⅱ ● 微分方程式Ⅰ・Ⅱ ● 関数論Ⅰ・Ⅱ ● 微分方程式Ⅰ・Ⅱ ● 力と運動の物理学Ⅰ・Ⅱ ● 電気と磁気の物理学 ● 現代物理学 ● 物理学Ⅰ・Ⅱ演習 ● 物理学Ⅰ・Ⅱ演習 ● 電子化学 ● 基礎化学実験 ● 有機化学 ● 材料化学 ● 基礎地形・地質学 ● 地理学 ● 線形代数学Ⅰ・Ⅱ ● 数理統計学Ⅰ・Ⅱ ● 数学演習Ⅰ・Ⅱ ● 数理統計学Ⅰ・Ⅱ ● 熱とエントロピーの物理学 ● 物理学Ⅰ・Ⅱ ● 力と運動の物理学Ⅰ・Ⅱ演習 ● 基礎物理学実験 ● 工学のための化学 ● 化学演習 ● 電子化学基礎実験 ● 地球環境化學 ● 生命科学 ● 自然環境論 ● 科学技術史
2 外国語科目		
世界の最先端の科学技術に貢献していくこととなる理工学部にとって、外國語の運用能力が異文化理解は専門分野と同様に必要な不可欠です。英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語を設置し、検定試験も積極的に活用しています。eラーニングやCALL教室など、楽しくスポーツを行なうながら身体活動と健康の基礎理論を学びます。		
● 1年次 ● 英語Ⅰ・ⅡA・ⅡB ● 英語Ⅱ・ⅡA・ⅡB ● ドイツ語文法Ⅰ・Ⅱ ● ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ ● フランス語文法Ⅰ・Ⅱ ● フランス語初級Ⅰ・Ⅱ ● 中国語文法Ⅰ・Ⅱ ● 中国語初級Ⅰ・Ⅱ	● 1年次 ● スポーツⅠ ● スポーツⅡ ● スポーツ健康科学	● 微分積分学Ⅰ・Ⅱ ● 微分方程式Ⅰ・Ⅱ ● 関数論Ⅰ・Ⅱ ● 微分方程式Ⅰ・Ⅱ ● 力と運動の物理学Ⅰ・Ⅱ ● 電気と磁気の物理学 ● 現代物理学 ● 物理学Ⅰ・Ⅱ演習 ● 物理学Ⅰ・Ⅱ演習 ● 電子化学 ● 基礎化学実験 ● 有機化学 ● 材料化学 ● 基礎地形・地質学 ● 地理学 ● 線形代数学Ⅰ・Ⅱ ● 数理統計学Ⅰ・Ⅱ ● 数学演習Ⅰ・Ⅱ ● 数理統計学Ⅰ・Ⅱ ● 熱とエントロピーの物理学 ● 物理学Ⅰ・Ⅱ ● 力と運動の物理学Ⅰ・Ⅱ演習 ● 基礎物理学実験 ● 工学のための化学 ● 化学演習 ● 電子化学基礎実験 ● 地球環境化學 ● 生命科学 ● 自然環境論 ● 科学技術史
3 保健体育科目		
人間が健やかに暮らしていくためには、身体活動を通して健康にかかる生理や心理的要因を通して理解し、生涯にわたる健康的な基礎を培っていくことが大切です。保健体育科目では、楽しくスポーツを行いながら身体活動と健康の基礎理論を学びます。		
● 2年次 ● 英語Ⅲ・ⅣA・ⅣB ● 科学技術英語Ⅰ・Ⅱ* ● English CommunicationⅠ・Ⅱ ● ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ ● フランス語中級Ⅰ・Ⅱ ● 中国語中級Ⅰ・Ⅱ	● 2年次 ● スポーツⅢ	● 微分積分学Ⅰ・Ⅱ ● 微分方程式Ⅰ・Ⅱ ● 関数論Ⅰ・Ⅱ ● 微分方程式Ⅰ・Ⅱ ● 力と運動の物理学Ⅰ・Ⅱ ● 電気と磁気の物理学 ● 現代物理学 ● 物理学Ⅰ・Ⅱ演習 ● 物理学Ⅰ・Ⅱ演習 ● 電子化学 ● 基礎化学実験 ● 有機化学 ● 材料化学 ● 基礎地形・地質学 ● 地理学 ● 線形代数学Ⅰ・Ⅱ ● 数理統計学Ⅰ・Ⅱ ● 数学演習Ⅰ・Ⅱ ● 数理統計学Ⅰ・Ⅱ ● 熱とエントロピーの物理学 ● 物理学Ⅰ・Ⅱ ● 力と運動の物理学Ⅰ・Ⅱ演習 ● 基礎物理学実験 ● 工学のための化学 ● 化学演習 ● 電子化学基礎実験 ● 地球環境化學 ● 生命科学 ● 自然環境論 ● 科学技術史
4 基礎教育科目		
理工学の専門分野を深めるにはまず、理数系科目の基礎を固めることが大事です。専門科目を学ぶベースとなる数学、理科(物理、化学、地学)について、講義、実験、演習を通してしっかりと基礎力を定着させます。		
5 留学生科目		
● 日本語Ⅰ・ⅡA・ⅡB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB・ⅣA・ⅣB ● 日本の社会Ⅰ・Ⅱ ● 日本の文化Ⅰ・Ⅱ		

TOEICからキャリアを切り開く

理工系の分野において、英語力は高い専門性を後押しする強力なツールです。学習成果をはかる指標のひとつとして、就職活動や就職後の昇進などでも広く活用されているTOEICを導入しています。1年生は全員が、2年生以上はTOEIC対策を主眼とする科目の受講者が、各学期の終わりにTOEIC L&R IPテストを受験します(1年生・2年生ともに、受験料はすべて学部負担です)。そのほか、習熟度別クラス編成、パワーアップセンターでの基礎力の養成、CALL教室での授業、自主学習でも利用可能なeラーニングコンテンツなど、学生の多様な目的と目標に応えられる学習環境をパックアップしています。

eラーニングで効率よく語学を学べます

英語 ALC Net Academy 2 「英文法コース」「スパースタンドードコース」「Power Wordsコース」の3つがあり、英語の基礎からTOEICに受験まで幅広く学習することができます。	中国語 中国語講座 「本文編」～「四編」、「四知識集」からなり、繰り返し発音を開くことができます。中国語検定対策問題もあります。
ドイツ語 e-Learning Deutsch 理工独自のeラーニング教材で、ネイティブの發音を聞きながら初級ドイツ語文法と基礎的語彙の学習ができます。独語検定に合格しています。	フランス語 原則と例外で学ぶフランス語文法入門 理工独自のeラーニング教材で、初級フランス語文法の学習ができます。英語との違いを理解し、文法項目の「原則」と「例外」を明確にすることで、効率的にフランス語の全体像が理解できます。

学外コンペ・学会・大会

コンペやコンテスト、学会発表等にチャレンジし、よい成績を挙げています。

建築学科

(一社)日本建築学会主催 学生サマーセミナー2017

優秀賞 作品「Reciprocal Dome」(左)
審査員賞 多田脩二賞 作品「TAS～Tied arch Scissors～」(右)

小川 舞、進藤 隆太、森下 謙、矢ヶ崎 拓人(4年)、鷲海 邦人(1年)



審査員賞 伊藤泰彦賞 作品「浮結絡散」

松田 麻未、金井 俊浩、坂井 真理、林 辰弥(4年)、渥美 友哉(1年)

海洋建築工学科

(一社)日本建築学会主催
2017年度日本建築学会設計競技
「地域の素材から立ち現れる建築」

佳作およびタジマ奨励賞
作品「瓦礫の遺言」

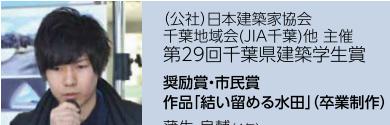
赤堀 厚史(4年)
中村 佑祐、佐藤 未来、加藤 椿衣(4年)



レモン画翠主催
第40回学生設計優秀作品展
特別企画「ポートフォリオレビュー」
最優秀賞 作品「Dual Up」
長谷川 謙人(4年)



株式会社新建築社主催
都市のパブリックスペースデザインコンペ2017
佳作 作品「記憶の遺跡」(左)
永富 勝、山本 雄太郎、上田 紗矢香(4年)
佳作 作品「建て替えによる、全面接道都市」(右)
金井 寛祐(3年)、志賀 侑大(M2)



(公社)日本建築家協会
千葉地域会(JIA千葉)他 主催
第29回千葉県建築学生賞
奨励賞・市民賞
作品「結い留める水田」(卒業制作)
蒲生 良輔(4年)

航空宇宙工学科

(一社)日本航空宇宙学会主催
第13回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト
第3位およびベストクラフト賞 作品「Libellen 17」
篠瀬 優(4年)、込宮 秀宥、福島 のぞみ(3年)、市橋 充吾、近藤 結花(2年)

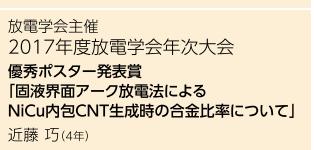
機械工学科

(公社)日本設計工学会主催
設計コンテスト2017

優勝
「ハンディークリーナーのケーシングの課題」
市原 稔紀、池町 翼(3年)



(一社)電気学会主催
第8回学生研究発表会
優秀発表賞
「省電力デバイスの設計に向けたスピン波の数値解析」
安田 拓弥(4年)



電気工学科

放電学会主催
2017年度放電学会年次大会
優秀ポスター発表賞
「固液界面アーカ放電法によるNiCu内包CNT生成時の合金比率について」
近藤 巧(4年)